

# 第72回石狩管内PTA連合会 研究大会 北広島大会

## 1 大会スローガン・全体研修主題

### 【大会スローガン】

『子どもの瞳に輝きを！ 育もう生きる力と豊かな心』

### 【全体研修主題】

『子どもたちの未来への夢を育み、新しい時代を切り拓く21世紀のPTA活動はどうあるべきか』

## 2 主催・主幹・後援

### 【主催】

北海道PTA連合会 石狩管内PTA連合会

### 【主幹】

北広島市PTA連合会

### 【後援】

北海道教育庁石狩教育局 北広島市  
北広島市教育委員会

## 3 開催日・会場

令和元年11月9日(土)  
北広島市立大曲東小学校

## 4 日程

受付	9:20	～	9:50
局説明	9:50	～	10:00
開会式	10:00	～	10:30
講演会	10:30	～	12:00
昼食	12:00	～	13:10
分科会	13:10	～	15:10
閉会式	15:10	～	15:20

## 5 開会式

大会長挨拶 石狩管内PTA連合会  
会長 後藤 一樹  
石狩管内PTA連合会母親研修会  
運営委員長 街道 美恵  
祝 辞 北海道教育庁石狩教育局  
局長 堀本 厚 様  
歓迎の言葉 北広島市 市長 上野 正三 様

## 5 講演会

### 【演題】

「子どもの瞳に輝きを！  
～選手として 指導者として 父として」

### 【講師】

サッカー解説者 元サッカー日本代表  
吉原 宏太 氏

## 6 分科会

### ●第1分科会

「保護者にどうPTA活動に関わりをもたせていくか」  
助言者 北広島市教育委員会社会教育課長 吉田 智樹 氏

### ●第2分科会

「親子で考えたい、ネットトラブルの未然防止」  
助言者 北海道教育庁石狩教育局教育支援課  
社会教育指導班主査 国枝 知 氏

### ●第3分科会

「親力を鍛え育てる」  
助言者 北広島市立東部小学校 校長 設楽 正敏 氏

### ●第4分科会

「地域を生かし特色あるPTA活動をどう創造したらよいか」  
助言者 北広島市立西の里中学校 校長 高松 篤 氏

### ●第5分科会

「親父にできること・やっていること」  
助言者 北広島市立広葉中学校 校長 金森 直人 氏

### ●第6分科会

「学校と共に育む生活・学習習慣」  
助言者 北海道教育庁石狩教育局教育支援課  
義務教育指導班主任指導主事 因 雅仁 氏

## 7 成果と課題

- ・全体講演の吉原宏太氏の話が面白く、努力の大切さや周囲への感謝の気持ちをもつことの大切さが参加者の共感をよんでいた。
- ・各分科会とも、各単Pからの提言をきっかけとして情報交流ができ、ご助言もいただくことができた。今後のPTA活動、保護者のあり方について考え、戻ってから環流したいという意見がたくさん寄せられた。

# 後志PTA研究大会

## 1. 研究テーマ

「未来を担う子どもの健全育成を目指して、  
今、PTAは何をなすべきか」  
～学校・家庭・地域社会の連携を深め、  
『生きる力』をどう育むか～

## 2. 開催期日・会場

令和 元年 9月 1日(日)  
仁木町民センター

## 3. 日程

9:00 受付  
9:40 開会式  
10:25 講演会  
11:55 閉会式

## 4. 開会式

- ◆主催者挨拶 後志PTA連合会  
会長 松 枝 主 範
- ◆来賓挨拶 北海道教育庁後志教育局  
次長兼主幹 西 村 公 弘 様
- ◆歓迎の言葉 仁木町  
町長 佐 藤 聖一郎 様

## 5. 講演会

(1) 講師 ノンフィクション作家  
合 田 一 道 氏

(2) 演題 「先人に学ぶ、歴史に学ぶ」  
～北海道開拓の光と影～

### (3) 講演の概要

北海道の開拓に大きく関わった榎本武揚や松浦武四郎らのあまり知られていない出来事について、合田氏の豊富な知識と経験から、古文書などの資料とともに丁寧に説明していただいた。

## 6. 研究大会を振り返って

(1) 会場がほぼいっぱいとなる320名余りの方に参加していただいた。受付開始時間になって、突然の大雨に見舞われたが、駐車スペースは十分にあり、町村代表による受付をお願いしたので、混乱なく参加者を迎えることができた。

(2) 実行委員会を立ち上げるにあたり、総務・庶務・会計部、会場・駐車場部、受付・接待部、放送・記録部の4つの部会を、町内4つの小・中学校に割り振ったため、学校単位で準備を進めることができた。したがって、予定していた拡大実行委員会を開かずに済んだ。

(3) 講師の合田氏が札幌在住ということもあり、7月に合田氏と打ち合わせを行った。その際、当日の配付資料を預かり、事務局で会場投影用のパワーポイント資料を作成した。

(4) 最後になりましたが、本研究大会にご多用のところご臨席賜りましたご来賓並びに後志管内各町村よりご参加いただきました多くの会員の皆様に深くお礼申し上げます。



〈函館市PTA連合会〉  
(地区研究大会)

1 大会主題

- ・『学びと行動で未来を拓くPTA』  
～子どもたちの豊かな成長を願って～

2 開催期日と会場

- ・令和元年9月1日(日)
- ・北海道教育大学函館校

3 日程

- ・12:30～ 受付
- ・13:00～ 開会式
- ・13:15～ 全道大会の概要について
- ・13:25～ 分科会(提言・協議)
- ・15:55～ 閉会式

4 開会式

- ・大会長挨拶 市P連会長 干山 毅
- ・来賓 挨拶 北海道教育庁  
渡島教育局教育支援課長 箕浦真人  
函館市教育委員会  
学校教育部長 松田賢治
- ・来賓・助言者紹介  
市P連副会長 石田亮介

5 全道大会の概要について

市内の小中学校のPTA会員に向け、全道大会の内容について説明した。総会での日程やスローガンにかかわる説明に続き、今回はより具体的に各部の担当や業務内容、推進日程について周知を図った。

6 分科会の概要

各分科会毎に2校が提言発表し、その提言にかかわる質疑応答や各校のPTA活動の交流を図った。また、各分科会には助言者を配置し、提言や話し合った内容等について適切な助言を行うことができた。

- ・第1分科会(組織・運営)  
→PTAをつなげていくためにすべきこと  
○函館市立神山小学校  
「PTAをつなげていくためにすべきこと」  
○函館市立臼尻小学校  
「力を合わせ楽しく活動する臼小PTA」  
～子どもも大人も笑顔でつながろう～
- ・第2分科会(家庭教育)  
→子どもと深く関わるためにすべきこと

○函館市立中部小学校

「家庭と学校をつなぐPTA活動」

○函館市立榎法華小学校

「笑顔あふれる学校づくりをめざして」

- ・第3分科会(家庭支援・地域連携)  
→学校を支えるために地域とPTAがすべきこと

○函館市立南本通小学校

「多世代交流を目指した  
七夕プロジェクトの取組」

○函館市立銭亀沢中学校

「学校を支えるために  
地域とPTAがすべきこと」

～子どもたちの健やかな成長に  
向けた連携と取組～

- ・第4分科会(健康・安全の教育)

→心身ともに健康な子どもを  
育むためにすべきこと

○函館市PTA連合会事務局

「親がすべきこと」食育を通して～

- ・第5分科会(特別課題)

→ネット社会に生きる子どもたちを守るために

○函館市立北日吉小学校

「ネット社会に生きる  
子どもたちを守るために」

～経年変化による分析と  
家庭・学校での取り組み～

○函館市立尾札部中学校

「ネット社会に生きる子どもたちを  
守るための家庭及びCSと連携する取組」

7 成果と課題

新ブロック後、初め開催される分科会形式の市P連研究大会であるが、ブロック数減により分科会の提言は2つとなったが、グループ討議に費やす時間が確保され、各分科会では積極的かつ活発な協議が行われた。

また、事前に司会者・提言者・助言者による打合せ会議を持ち、柱決めや進め方の確認を行うことによって、当日の話し合いがスムーズに行われたことが成果であった。

一方、提言作成に関わり、学校の負担増が課題という反省があった。「学校にお任せ」という気質を改善する必要があると感じた。

また、「せっかくの休みだから」と研修会等への参加を見合わせる保護者が増える傾向にある。魅力ある研修会の持ち方について再考する必要がある。



# ＜渡島PTA連合会＞

(地区PTA研究大会)

## 1. 研究主題

「未来を見つめ、日々変化する社会に生き、心身ともに健康な子どもの育成をめざすPTA活動は、どうあればよいか」

## 2. 開催期日と会場

令和元年10月27日(日)  
知内町立知内中学校

## 3. 日程

受付	9:30～10:00
開会式	10:00～10:30
講演	10:30～12:00
情報提供	12:10～12:20
分科会	13:10～14:25
閉会式	14:35～14:50

## 4. 開会式

- ・大会長挨拶 渡P連会長 佐々木 高
- ・来賓挨拶 渡島教育局長 五十嵐 晋 様  
知内町教育委員会  
教育長 本間 茂裕 様

## 5. 情報提供

### (1) 提供者

渡島教育局教育支援課社会教育指導班  
主査 風間 直樹 様

### (2) 概要

アウトメディアに関する情報提供。北海道教育委員会ホームページの紹介等。

## 6. 講演会

### (1) 講師 橘 ころろ 氏

[映画『ビリギャル』の原作のお母さん]

### (2) 演題

「子供を信じれば、  
子どもの魅力は爆発的に伸びる」

## (3) 概要

### 【講演会】

自分(ころろさん)の母は完璧主義者で頑張り屋だったので、幼い私のお話を聞く余裕なんて一切なかったそうです。また、母の考えから少しでもそれると叱られて辛かったのを憶えており、「これやりなさい」や「あれやりなさい」と強く言われれば言われるほどどうしても身体が動かなかったそうです。

人から押し付けられると反発してしまうというのが子育ての基本であることを信念とし、子どもを信じる姿勢を徹底したことが、「ビリギャル」が大学に合格したり、映画になったりすることにつながったとお話されました。

今回の講演は決して成功談ばかりではなく、子育てをするうえでうまくいかなかったことも踏まえての講演で、PTA会員にとって大変有意義なものとなりました。

### 【分科会】

9つの分科会を開催しました。「PTA活動」「家庭教育」「学力向上」等についての提言をもとに、グループワークで研修を深めました。



第5分科会の様子

## 7. 成果と課題

### (1) 成果

- 講演の内容が、聴衆の心をとらえるものであり、親としての子どもへの接し方に大きな示唆を与えた。
- 午前中の講演が、午後の分科会での討議に生かされ、活発な議論が交わされた。

### (2) 課題

- 分科会のテーマは今後も継続で良いと思われるが、テーマによって参加希望人数の偏りが出してしまうため、事務局で調整することが必要である。

# ＜檜山 PTA 連合会＞

## 地区研究大会

### 1 大会主題

「ふるさと檜山を愛し、心豊かで生きる希望に満ちた子どもを育てる PTA 活動の創造」

### 2 開催期日と会場

令和元年 8月25日(日)

今金町総合体育館

### 3 日程

受付 9:00～9:30

開会式 9:30～10:20

パネルディスカッション

10:30～11:50

講演 12:30～14:10

閉会式 14:10～14:30

### 4 開会式

- ・大会長挨拶 檜P連会長 弥左 直人
- ・来賓祝辞 今金町長 外崎 秀人 様  
北海道議会議員 内田 尊之 様  
檜山教育局長 相内 修司 様
- ・表彰式
- ・オリエンテーション

### 5 講演会

#### (1) 講師

杏林大学教授  
金田一秀穂 氏

#### (2) 演題

「言葉の教育」

#### (3) 講演の概要

日本語研究の専門家としての視点から、子どもの成長を支える大人として、普段自分が使っている言葉について、また子どもたちの言葉の環境等について、今一度見つめ直す機会が必要になってきている。

社会の急速な変化の中、価値観の多様化、少

子高齢化、核家族等によって、人と人のつながりも希薄化する現代、今後子どもたちを育み、支え合っていくためには、インターネットに代表される通信機器に依存しすぎることなく、直に言葉を紡いでいく必要がある。

また、生活習慣と、子どもたちの学力・体力・体の成長などの発達への影響について、自らの子育てのエピソードを交えながら、望ましいあり方を参加者と共に考える内容であった。

### 6 パネルディスカッション

檜山管内6町による PTA 活動の実践発表

- (1) 地域に即した PTA 活動のあり方  
厚沢部町, せたな町
- (2) 人間性豊かな子どもの育成  
上ノ国町, 乙部町
- (3) 望ましい社会と教育環境  
奥尻町, 江差町

### 7 参加者の声

- ・パネルディスカッション形式で参加しやすかった。
- ・様々な町の実践に触れることができとても参考になった。
- ・今日学んだことは今後の子育てや生徒指導に活かしていこうと思った。

### 8 成果と課題

- 講演の内容は、参加者のニーズに合ったもので9割以上が「よい」という反応であった。
- パネルディスカッション形式は参加者にとって、参加しやすく、各学校の PTA 活動を深める事に繋がるものとなった。



# 南 空 知 P T A 連 合 会 研 究 大 会

令和元年11月 9日(土)

南幌町農村環境改善センター

- 1 大会主題  
『地域を愛し 心豊かに未来を生きる  
子どもを育てる』
- 2 主 催  
南空知PTA連合会 南幌町PTA 連合会  
北海道教育庁空知教育局
- 3 後 援  
南幌町 南幌町教育委員会 南幌町校長会
- 4 開催日時と会場  
令和元年11月 9日(土)  
南幌町農村環境改善センター
- 5 日 程  
受 付 8:50~ 9:20  
開会式 9:20~ 9:40  
健全育成の集い 9:40~10:10  
講 演 10:10~11:30  
交流・協議 11:30~12:10  
閉会式 12:10~12:20
- 6 開会式  
開式の言葉 南空知PTA連合会副会長  
金田 貴彦  
主催者挨拶 南空知PTA連合会 会長  
三澤 祥子  
空知教育局教育支援課長  
高杉 直人  
来賓挨拶 南幌町長 三好 富士夫 様  
閉式の言葉 南空知PTA連合会副会長  
金田 貴彦
- 7 南幌町健全育成の集い  
少年の主張 南幌中学校生徒  
国際留学派遣報告 国際留学派遣参加生徒
- 8 講演会  
演題  
「昔は少なかったストレス関連障害と発達障害」  
~それにどう対応するか…地域の役割とその意義~  
講師  
とまこまい脳神経外科副院長・小児脳神経外科部長  
高橋 義男 氏
- 9 交流・協議  
ほっかいどう学力向上推進事業「子どもの  
学力・生活習慣改善研修会」  
【進 行】  
空知教育局義務教育指導班  
【テーマ】  
「思いを一つにしてつながろう!子どもたちのために」  
~親としてPTAとして私たちができること~  
【協議の柱】
  - ・地域社会と関わる子どもの育成について
  - ・学習習慣を身に付けた子どもの育成について
  - ・未来をたくましく生きる子どもの育成について
- 10 閉会式  
開会の言葉  
主催者挨拶 南幌町PTA連合会会長  
山口 達矢  
閉会の言葉
- 11 成果と課題  
講演会は、アンケートの結果から、参加された方々から好評価をいただいた。もう一度講演を聴きたいという感想もいただいた。交流では、他の市町のみなさんと交流できて良かったという感想も寄せられた。大会全体の時間的な配分や運営面についてのご意見をいただいた。次年度以降の反省として活かしていきたい。



# 日高地区PTA連合会

## 地区研究大会様似大会

### 1 研究主題

たくましく、心豊かな子どもを育てるために

### 2 開催期日と会場

期日：令和元年11月10日（日）

会場：様似町立様似小学校

### 3 日程

- ・ 9：30～ 受付
- ・ 10：00～ 開会式
- ・ 10：30～ 講演会
- ・ 12：00～ 昼食
- ・ 13：00～ 分科会
- ・ 15：00～ 終了

### 4 開会式

司会：(地区P連事務局長 玉手 広昭)

- (1) 開式の言葉 地区P副会長 鎌田 直樹
- (2) 大会長挨拶 地区P会長 能登 浩
- (3) 祝辞 日高教育局長 波岸 克泰  
様似町長 坂下 一幸
- (4) 来賓紹介 地区P事務局次長 森 真治
- (5) 基調報告 母親委員長 元木 茂子
- (6) 閉式の言葉 地区P副会長 中田 弘樹

### 5 記念講演

- (1) 講師

貫田 桂一氏

(ヌキタ・ロフィスト代表  
フードディレクター)

- (2) 演題

「やさしい食育で才能を伸ばす」  
～脳と体によい日高の恵とは！？～

### (3) 講演の概要

日高昆布をはじめとする良質な日高の食材が脳と体に有効であることをシェフとしての経験や知識をもとに、わかりやすくお話しされ



た。参加者からは「ためになる話だった」「今後、ぜひ活用してみたい」等の感想がよせられ、大変好評を得

た。日高昆布だしの試飲や、遠赤外線が効果的な粗塩の提供などもあり、とても楽しく、有意義な講演会であった。

### 6 分科会の概要

7分科会を構成し、下記のテーマにもとづき、各分科会とも2本の話題提供をもとに小グループ討議形式で活発な話し合いが行われた。た。

- ・ 第1分科会「PTA活動」
- ・ 第2分科会「小学校低学年」
- ・ 第3分科会「小学校中学年」
- ・ 第4分科会「小学校高学年」
- ・ 第5分科会「中学校・高等学校」
- ・ 第6分科会「特別支援教育」
- ・ 第7分科会「地域との連携」



### 7 成果と課題

母親研との合同開催7年目、大会運営や分科会の小グループ形式が定着し、大変スムーズに進められた。参加者を一定程度集めることや話題提供者の負担に配慮することが課題である。

## 〈オホーツク東部地区PTA連合会〉

(地区研究大会)

### 1. 研究テーマ

#### ◇大会主題

「心豊かに、ともに支え合い、ふるさとオホーツクに誇りをもつ子どもを育てる」

#### ◇大会の趣旨

子どもたちが心豊かに逞しく生きていくために、PTA関係者が一堂に会し、子どもたちをめぐる諸課題の解明にあたる。さらに、今後のPTA活動の方向性と活性化の方策を探る。

### 2. 開催期日と会場

◇令和元年11月 9日(土)

◇斜里町公民館「ゆめホール知床」

### 3. 日程

開会式 9:30～ 9:45

講演会 9:45～11:15

感想交流 11:15～11:50

### 4. 開会式

#### (1) 主催者挨拶

オホーツク東部地区P連会長 中村 祐介

#### (2) 共催者挨拶

オホーツク教育局局長 伊賀 治康

#### (3) 来賓祝辞

斜里町教育委員教育長 岡田 秀明様

### 5. 講演会

#### (1) 講師 諏訪 清隆 氏

旭川赤十字病院小児科部長



### (2) 演題

「これからのネット社会を生き抜く  
子どもを育むために」

### (3) 講演の概要

#### ◇電子メディアへの長時間接触の影響

- 言葉を学ぶ過程の幼少期の子どもにおいては、テレビの長時間視聴だけではなく、子どもが見ていなくても、音だけでも子どもの脳に影響があり、言葉の習得率が低下が見られる。
- 幼少期の運動体験が減ることで、必要な運動を獲得しにくくなっている。1割の小中学生がかかとをつけてしゃがめないデータがあり、高齢になった時に介護が必要になるほどの極めて深刻な状態である。
- 夜更かしやブルーライトの影響で眠れない、LINEで目が覚める等により、朝起きられないため朝食をとらないなど、生活習慣に悪影響が出る。
- 平日の携帯電話、スマホ使用が長いほど家庭学習の時間が犠牲となり、学力に影響が出る。
- ネット、ゲーム依存(ゲーム障害)に陥りやすくなる。中高生の93万人がネット依存5年間で約2倍に増加している。

#### ◇メディア対策が必要

- 1, 電子メディア使用は1日2時間以内に
- 2, スマホは1日1時間まで
- 3, 就寝1時間前にはメディア使用中止寝室にはスマホを持ち込まない。

◎テレビやゲーム、スマホよりもっと楽しい体験や家族で過ごす機会をたくさんつくり、電子メディアのリスクから自分自身を守る人に育てましょう。

### 6. 成果と課題

- 各学術、研究引用のグラフ等、説明が分かりやすく、大変説得力ある内容で、危険なことが身にしみる内容であった。危険なだけではなく心身の成長、発達まで広くお話しただけだ。今までの子育てや教育を見直す一助となった。
- アンケートにわずかながら否定的な方もいたが、圧倒的に高評価の方が多かった。
- 講演後、近くの参加者同士で、印象に残った言葉や驚いたことなどを話し合うとともに、数名の参加者にインタビューしながら話し合った内容を全体で交流したことで、学んだことを再確認することができた。

## 〈北見市PTA連合会

- ・オホーツク中部地区PTA連合会)  
(地区研究大会)

### 1. 大会主題

「変容する新しい社会に即応し、たくましく  
生きる人間性豊かな子どもの育成をめざし  
たPTA活動を推進しよう」

### 2. 開催日時と会場

期 日 令和元年9月22日(日)  
会 場 北見芸術文化ホール

### 3. 日程

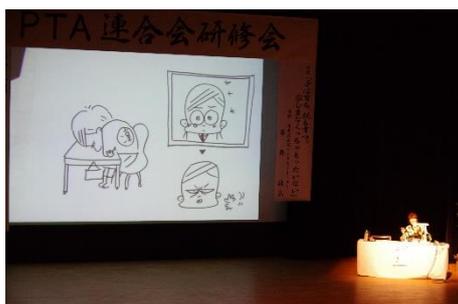
受 付  
開会式 10:00~10:15  
講演会 10:15~11:45  
閉会式 11:45~12:00

### 4. 開会式 10:00~10:15

主催者挨拶 北見市PTA連合会  
会 長 吉田 哲 様  
来賓祝辞 北見市教育委員会  
教育長 志賀 亮司 様  
情報提供 北海道教育庁オホーツク教育局  
教育支援課社会教育指導班  
社会教育主事 為広 千里 様

### 5. 講演会

- (1) 講師 高野 優 氏  
育児漫画家 イラストレーター
- (2) 演題「子は育ち、親も育つ。  
楽しまなくっちゃ もったいない！」



### (3) 講演の概要

「子は育ち、親も育つ。」自身の子育てで感じたことを語った。

3人姉妹それぞれ性格が違い、言葉かけや見守り方、接し方などを試行錯誤してきた。一人ひとりに良さがあり、その子に合わせた対応を自らの経験からイラストを交え、参加者に語りかけた。

また、高野さん自身が子供の頃、姉と比較され辛い思いをしたことを語った。

両親は何でもできる姉に溺愛し、高野さんと比べてばかりで認めてもらえなかった。自分の頑張りを見てくれない、怒鳴られてばかりといった環境で育ったため、居心地の悪い家庭であった。ところが、外に出ると地域や担任の先生が温かく、愛情をかけてくれたおかげで今の自分があると思っている。

自分の子供だからとか、他人の子供だからと線引きをせず、目に見えない心の傷を負っている子供たちをぜひ、助けてあげてほしい。そして、気になる子供がいたら遠慮なく声掛けをして子育てのバトンを地域、社会みんなでつないでほしいという願いを訴えかけた。



### 6. 成果と課題

オホーツク中部地区の保護者、教員、教育関係者が一堂に会し、生涯学習の場としての家庭について学習し、会員相互の共通理解を深める良い機会となった。参加者アンケートの回収率は76%と高く、たくさんの感想が記載されていた。特に、講演会が「とても役に立った」「役に立った」を合わせると100%であったことから、講演会が参加者にとって好評で有意義なものとなり、家庭の教育力を高める充実した研究大会となった。

令和元年度

第63回帯広市PTA連合会研究大会  
帯広市PTA連合会

1 第63回帯広市PTA連合会研究大会

〈大会テーマ〉

「学びでひろく 子どものミライ」

2 開催日と会場

令和元年11月17日(日)

とかちプラザ

3 日程

- 13:50 受付
- 13:10 開会式
- 13:35 分科会A
- 14:55 休憩
- 15:10 分科会B
- 16:30 分科会ごとに閉会式・終了

4 開会式

主催者挨拶 市P連会長 金尾 泰明  
祝辞 帯広市教育長 池原 佳一 様  
概要説明 市P連教育部長 佐伯 大輔



5 分科会

(1)分科会A

- ①子どもの安全を守る分科会～救急編  
演題「家族を救う！今日からパパママ救急隊」
- ②新しい学校を考える分科会(子育て研修会)  
講師 森下智之氏  
(白糠町教育委員会指導室長)
- ③子どものやる気を引き出す分科会  
演題「子どものより良い成長を促す  
子育てのヒント」  
講師 笹木卓三氏  
(上士幌町教育委員会教育専門員)
- ④子どもの自立を促す分科会  
(特別支援教育)  
演題「働く大人になるために、  
学齢期の今すること、させること」  
講師 清末有二氏  
(芽室町発達支援センター長)
- ⑤SNS・ネットと上手につきあう分科会  
演題「小・中学生をネットトラブルから守ろう」  
講師 大久保輝夫氏  
(KDDI CSR環境推進室)
- ⑥PTAの未来を考える分科会  
説明・意見交流  
「次年度からの市P連組織変更点の確認」



(1)分科会B

- ①子どもの安全を守る分科会～防災編  
演題「まさかに役立つ防災・減災の知恵」  
講師 西澤晶英氏  
(帯広市役所総務課防災係防災担当・親子防災講座担当)
- ②新しい学校を考える分科会(子育て研修会)  
講師 森下智之氏  
(白糠町教育委員会指導室長)
- ③子どものやる気を引き出す分科会  
演題「子どものより良い成長を促す  
子育てのヒント」  
講師 笹木卓三氏  
(上士幌町教育委員会教育専門員)
- ④子どもの自立を促す分科会  
(特別支援教育)  
演題「働く大人になるために、  
学齢期の今すること、させること」  
講師 剣持明日香氏  
(学校法人帯広葵学園作業療法士)
- ⑤SNS・ネットと上手につきあう分科会  
講師 大久保輝夫氏  
(KDDI CSR環境推進室)

6 成果と課題

- ・研究大会の持ち方について「内容の異なる分科会を前半に6つと後半に5つ設定し、参加者の希望調査でそれぞれの所属を決定」することは、多くの参加者から支持を受けた。
- ・分科会の内容も、バラエティに富んだ各講師の講話や、実技を取り入れた内容により、高い評価を得た。
- ・参加者が予想以上に多かったため、全体会から前半のA分科会への移動に、予想以上に時間がかかってしまった。(A分科会は5分程度遅れて始めることとなった)



# 釧路市PTA連合会 研 究 大 会

## 1 研究テーマ

大会スローガン

北の大地ではぐくもう 生きる力と夢・未来

大会主題

21世紀を担う子どもたちを育てるPTA活動  
～自立する子を共に育む家庭と地域の教育力～

## 2 開催期日 令和元年10月26日(土)

会 場 釧路市立桜が丘小学校

## 3 日程

受 付 8:40～ 9:10

開 会 式 9:10～ 9:40

講 演 会 9:40～11:00

釧路教育局 11:10～11:40

閉 会 式 11:40～11:50

## 4 講演会

(1)講師 高木真美氏

釧路短期大学 専任講師

(2)演題

「読書が育む生きる力」

(3)講演の概要

① 本を読むということ

文字が読めるから本が読めるわけではない。物語を読み切るには

- 1 情報収集力
- 2 思考力
- 3 想像力
- 4 記憶力

を必要とする。

また、本の種類により使う力は異なる。例えば、「教養書」であれば、判断力や推理力が要り、知性を働かせなければならない。

「文学書」であれば、感覚や想像力を用いなければならない。

② 読むことで育つ「メタ認知力」

「メタ認知」という言葉を聞いたことがあるだろうか。これがあると、自己中心的ではなく、自分を客観的に見ることができるようになる。

逆に、「メタ認知能力」がないと・・・

☆衝動的で計画性がない

☆持続力がない

☆抽象概念が上手く扱えない

つまり、「キレやすい」ということになる。感情を言葉で表現できると暴走は止められる。

③ 脳科学の視点から

脳科学において「読書」は言語能力に関する脳の神経回路を発達・成長させるそうである。また、読書を通じた言語能力に関する神経回路の強化が、頭の回転の速さにもつながる可能性がある。

④ 読書と学力

「読書好きと児童生徒の正答率が高い」という学力調査の分析結果がある。小中学生4万人の調査でわかったことは、

○読書時間が長くなると成績が良い。但し10分以上2時間未満。

○2時間以上になると成績低下。勉強や睡眠時間を削ることが間接的に影響か。

○読書時間が2時間未満であれば勉強時間にかかわらず、読書をたくさんする子どもほど成績が高い。

○どんなに勉強しても読書習慣がないと平均以下の成績に。

○小学生の学力に一番影響を与えるのは家庭での読書活動。

## 5 青果と課題

今回の講演では、読書によって身につく力を統計により客観的に深く理解することができた。特に、子どもと本を繋ぐ大人の存在の重要性（読み聞かせをともに楽しむ・大人が読書を楽しむ姿を見せる・本を手にする環境整備など）について理解することが出来た。さらには地域みんなで子どもの読書活動を支えることは、地域の豊かな未来作りにつ繋がることが理解できた。

会場運営や駐車場の確保等の観点から、会場を持ち回りの学校開催ではなく、公共施設での固定開催のあり方を今後の課題として検討していくこととした。

# 根室地方PTA連合会

(地区研究大会)

## 1 研究テーマ

### ◇大会スローガン

「これからの時代を担うたくましく生きる力をもつ  
子どもを育てよう」

### ◇大会主題

「生きる力と豊かな心を育てるPTA活動のあり方  
を求めよう」

## 2 開催期日と会場

◇期日 令和元年8月25日

◇会場 別海町中央公民館

## 3 日程

9:00 開会式

9:20 根室教育局より説明

9:30 講演

## 4 開会式

進行：根室地方PTA連合会副会長 川端 美香

### (1) 主催者挨拶

根室地方PTA連合会会長 岡野 忠春

### (2) 共催者挨拶

北海道教育庁根室教育局長 藤田 寿香

### (3) 来賓祝辞

別海町教育委員会教育長 伊藤 多加志様



## 5 講演会

### (1) 演題

「男女共同参画で子育てを～パパもママも子ども  
と一緒に成長を～」

### (2) 講師

NPO法人お助けネット代表 中谷 通恵氏



### (3) 概要

父親と母親が共同して子育てする大切さとともに、乳幼児期から中学生期までの発達段階ごとに、子育てのヒントとして親としての具体的な関わり方を紹介していただきました。

また、スマホ・LINEが学習に与える影響について資料を基に示し、インターネット社会の子どもたちに大人としてすべきこととして、家庭でのルールづくりと、学校・家庭・地域で連携した取組の重要性を強調されていました。

## 6 成果と課題

### (1) 成果

- ・講演内容については、実践的な話が聞けた。父親と母親が共同して子育てする大切さを再確認した。
- ・託児に関わる実行委員を増やし、託児のニーズに対応することができた。

### (2) 課題

- ・中央公民館を利用する場合、駐車場が分散してしまう。交通渋滞や事故未然防止のために、地区ごとに駐車場を割り当てるあるいは侵入路を決めるなどの措置は今後も必要となる。